

ひふみのあゆみ 2010年7月2日号

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第1151号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



ひふみ投信 2010年6月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ

お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2010年6月の運用状況などをご報告いたします。

運用責任者からお客様へ

◆ 6月の投資環境(株式市場等での出来事)について

6月の株式市場は前月に引き続き海外要因に振り回される展開となり、月末の日経平均株価は前月より3.95%安い9,382.64円まで下落し、終値ベースで年初来安値を更新しました。

月初は鳩山首相が辞任する政局混乱で始まり、その後円安論者の菅新首相就任が好感される場面もありましたが、欧州諸国の財政問題が依然懸念される中、米国の雇用統計が予想外に悪化したことが嫌気され、9日には一時9,300円台まで再び反落しました。その後は世界的に良好な経済統計の発表が相次いだことが好感され、16日には1万円台を回復するまで反発しました。さらに、中国が人民元の弾力性を拡大することを19日に発表(2008年7月から事実上米ドルに固定してきた人民元相場の変動を再び認める)すると、元高に伴う中国の購買力拡大や追加金融引締め懸念の後退から、日経平均株価も1万円を値固めする動きとなりました。

しかし、月の後半にかけて、世界的に景気の先行きに不透明感がひろがりました。景気回復期待の高い米国で雇用統計に続いて住宅指標やGDP(国内総生産)等の経済指標が予想を下回り、また欧州ではユーロ圏の財政不安とその払拭に向けた財政赤字削減への政府取組みが景気回復を鈍化させると懸念され始めました。さらには世界景気を牽引している中国でも景気減速懸念が高まり、その結果、安全資産としての側面から先進国を中心に国債や円が買われ、長期債の利回り低下(債券価格の上昇)と円高が進行し、株式市場の売買高は閑散となりました。輸出依存度の高い企業が多い日本では、こうした世界的な景気鈍化と円高の企業業績に与える影響が懸念されました。

◆ 6月の「ひふみ投信」の運用について

6月は、下旬に低調に推移した市場動向を踏まえ、また相場の反転シナリオもある程度考えながら、ポートフォリオの守備固めをしました。ポートフォリオとはファンドの中身のことで、ファンドマネージャーの仕事は「その中身をどのように構成をするのか」という組合せの妙を作ることにあります。最近話題のサッカーに例えると、布陣をどう考えるのか、という話と似ています。日本の代表チームが対戦相手によって布陣を変えたように、株式相場の動向に合わせてポートフォリオを変化させます。相手が強豪国で強烈な攻撃が持ち味のときは守備を固めてカウンター狙いにいたり、比較的弱い相手の場合は積極的に点を取りにいたりするように、相場次第でポートフォリオを変化させていきます。

下旬が厳しい下げ相場でしたので、ポートフォリオの中身は守備的に構築しながら、カウンターを狙っていました。カウンターを狙うというのは、相場が反転したときにはそれ以上に上昇してくれる可能性のある攻撃的な銘柄を追加することです。6月に新たに組み入れた グローウェルホールディングス(3141)はドラッグストアチェーンの大手のひとつで、守備固めの要素が強い銘柄ですが、ちゃんと成長ストーリーがある銘柄です。また東宝(9602)は不動産と映画の興業ビジネス最大手企業で、円高の影響を受けにくい上に新しい宮崎アニメの人気次第では株価の上昇が見込める銘柄です。

◆ 今後について

(運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります)

現在は、内需関連企業と外需関連企業へほぼ半分ずつ投資しており、為替変動の影響をなるべく受けにくいようなポートフォリオにしています。特に最近では円高が進行しているので輸出企業の株式が売り込まれやすい展開になっていますが、為替が円安に反転する局面も遠くないと考えているので、状況を見極めながら、売り込まれた輸出関連企業の組入比率を上昇させることも視野にいらしています。

現在、総資産に対して約90%の株式組入れを行っており、10%程度の現金を保有しております。今後は日経平均株価1万円水準をターゲットとして、株式と現金の比率を調整していこうと考えています。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見直し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

2010年後半の株式相場について

今年後半の株式市場はどうか？を考える上で、重要なのは下記の3点です。

1つ目は欧米の景気動向、2つ目は中国の景気の行方および人民元の動向、3つ目が日本の政局および日本の財政政策の動向です。これらは相互に依存しながら日本の株式市場に影響していくので、個別に議論をするのは難しく、またそれぞれ先行きが読みにくい不透明な状況にあります。現状では下記のように考えております。

- 1) 世界景気については回復の途中ですが、米国の住宅市場の問題(販売数や着工数の低迷への懸念や価格の軟調)、南欧を中心とする欧州諸国の財政破綻の問題など不安材料も多く、上海万博やワールドカップなどの大きなイベントが終了し、世界経済を牽引するような大型イベントが少なくなることも影響して、力強い景気回復には程遠い状態がしばらく続くと思われる。
- 2) 中国の人民元相場は、政府が微調整をしながら少しずつ切り上げていくと予想しています。人民元の切り上げは大きな混乱なく進められていき、そのこと自体は中国経済においても世界経済にとってもポジティブな影響をもたらすと考えられます。ただし不動産市場は昨年までバブル的に上昇しており、中国の不動産市場が急激に下落した場合、短期的には中国の株式市場にとってネガティブな影響が避けられないでしょう。中国当局に不動産市場を崩壊させる意図はないと考えられますが、一方でバブル退治のために不動産の取引規制を実施しており、その影響はじわじわと不動産市場に効いてきています。
- 3) 日本の参議院選挙が7月11日に行なわれます。民主党は鳩山内閣から菅内閣へ移行することで雪崩崩壊を避けられ、現実的な政策の実行にシフトしつつあります。それによって総選挙で大敗をするリスクは小さくなりました。しかしながら大きく議席を増やすこともものぞめず、民主党単独での過半数の確保は難しいのではないのでしょうか。結果的に連立政権であることを余儀なくされますが、9月の民主党代表選挙で大きな政界再編が行われる可能性が高まっています。この内容次第では、日本の株式市場はポジティブにもネガティブにも反応するでしょう。経済の成長路線と財政健全化とのバランスが取れた考え方を持った政党が政権を取れば株式市場は安定するでしょうが、一方でどちらかに極端に寄った政策であれば、株式市場はネガティブに反応するものと思われる。

以上の前提を踏まえて、現時点では、今年後半の運用を以下のような戦略で行なおうと考えています。為替の動向は一方向には読みにくいので、中立的なポートフォリオにする予定です。具体的には輸出関連(円安ポジティブ)と内需(円高ポジティブ)の銘柄を半分ずつ保有するイメージです。半分ずつ保有することでオフセット(打ち消しあう)効果が期待できます。

また、できるだけ景気変動の影響を受けにくい企業を中心に投資して行こうと思います。以前レポートでも申し上げたような、ニッチな分野で独自の成長が期待できる会社がのぞましいと考えています。株価水準も割安な銘柄にシフトすることを計画しています。現金資産の割合が高くて財務リスクの小さい企業に投資する比率を上昇させていきます。例えば、6月末時点の組入銘柄で言えば、これらの条件にほぼ合致しているのが、東宝、任天堂、JPホールディングス、朝日印刷などです。楽天、サイバーエージェント、デジタルガレージなどは株価水準が安いとは言い切れませんが、ほぼ上述の趣旨で組み入れました。

信用リスクについては高まる可能性の方が高いとみており、且つその場合は世界的に金融株がネガティブな影響をうけると思われるので、金融株はできるだけ保有しない方向で考えています。しかし、信用リスクの問題が世界のどこかで実際に顕在化して日本のメガバンクや大手証券会社の株式が大きく下落した場合には、思い切ってそれらの銘柄に投資することも選択肢のひとつにもちながら、常に状況を注視したいと考えています。

ひふみ投信では、お預かりした資産をまもりながらふやすために、資産全体に対する株式の比率と現金の比率を調整しながら運用をしています。資産に対する株式の比率については65~95%をめどにし、日経平均株価が大きく上昇した場合や信用リスクが高まり大きな下落が予想される場合には現金の比率を高める予定です。一方で株式市場が大きく下落した場合や今後の大幅な上昇が予想されるときには、株式の比率を引き上げて株式への投資比率を高めてゆこうと考えています。

今後も引き続き弾力的な運用を行い、不透明な様相の強い今年後半の株式市場に対応していこうと考えています。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみ投信の基準価額について

2010年6月30日時点の基準価額

1万口当り **11,459円**

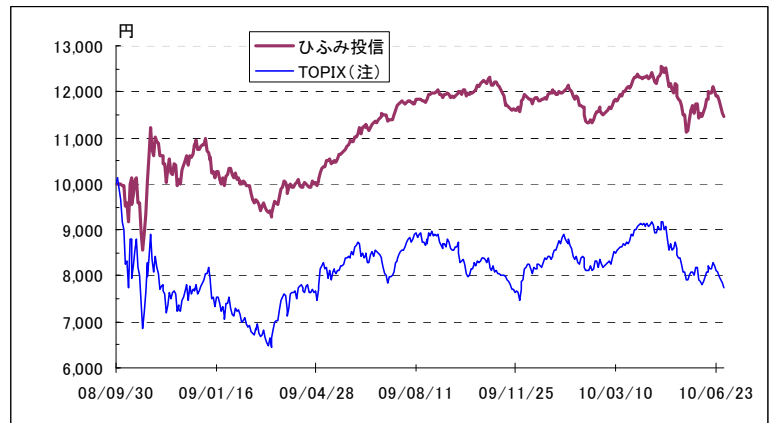
(基準価額とは「ひふみ投信」の値段の事です)

■ 運用成績について

基準価額のあゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1ヵ月	-2.03%	-4.43%
過去3ヵ月	-7.04%	-14.04%
過去6ヵ月	-4.25%	-7.29%
過去1年	0.79%	-9.50%
設定来	14.59%(※1)	-22.62%(※2)

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2010年6月30日までににおける数値です。
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2010年6月30日までににおける数値です。

■ 基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。
 ※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

支払い済分配金	
第1期(2009年9月30日)	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

ひふみ投信の資産内容について (2010年6月30日時点)

■ 資産の内訳

純資産総額	5.19億円
うち 株式	89.58%
うち 預金その他	10.42%
受益権総口数 (※)	453,332,369口

国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

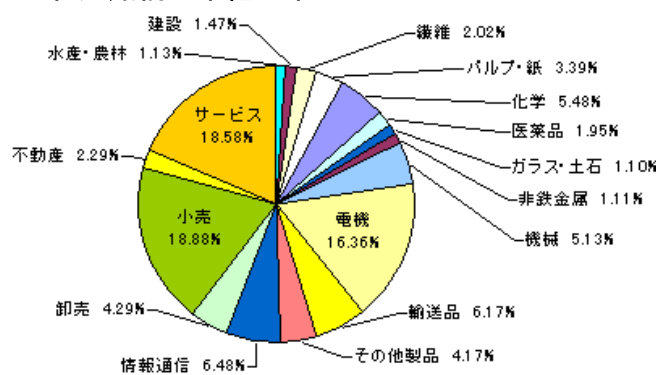
■ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数:47銘柄)

銘柄コード	銘柄名	業種	比率
1	9793 ダイセキ	サービス	3.21%
2	9983 ファーストリテイリング	小売	3.12%
3	6767 ミツミ電機	電機	3.12%
4	5949 ユニプレス	輸送品	3.12%
5	4755 楽天	サービス	3.08%
6	3951 朝日印刷	パルプ・紙	3.04%
7	8113 ユニ・チャーム	化学	2.90%
8	6941 山一電機	電機	2.89%
9	6967 新光電気工業	電機	2.70%
10	4751 サイバーエージェント	サービス	2.67%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ご参考資料:『ひふみ投信』の組入全銘柄(2010年6月30日時点)

銘柄コード	銘柄名	比率	業種	市場	銘柄コード	銘柄名	比率	業種	市場		
1	9793	ダイセキ	3.21%	サービス	東京一部	26	3402	東レ	1.81%	繊維	東京一部
2	9983	ファーストリテイリング	3.12%	小売	東京一部	27	7581	サイゼリヤ	1.80%	小売	東京一部
3	6767	ミツミ電機	3.12%	電機	東京一部	28	3360	シップヘルスケアホールディングス	1.80%	卸売	東京一部
4	5949	ユニプレス	3.12%	輸送品	東京一部	29	6502	東芝	1.71%	電機	東京一部
5	4755	楽天	3.08%	サービス	JASDAQ	30	2413	エムスリー	1.58%	サービス	東京一部
6	3951	朝日印刷	3.04%	パルプ・紙	東京二部	31	3141	グローウェルホールディングス	1.52%	小売	東京二部
7	8113	ユニ・チャーム	2.90%	化学	東京一部	32	9843	ニトリ	1.47%	小売	東京一部
8	6941	山一電機	2.89%	電機	東京一部	33	4540	ツムラ	1.41%	医薬品	東京一部
9	6967	新光電気工業	2.70%	電機	東京一部	34	2678	アスクル	1.39%	小売	東京一部
10	4751	サイバーエージェント	2.67%	サービス	マザーズ	35	1963	日揮	1.31%	建設	東京一部
11	9602	東宝	2.56%	情報通信	東京一部	36	2127	日本M&Aセンター	1.27%	サービス	東京一部
12	7974	任天堂	2.54%	その他製品	大阪一部	37	2668	タビオ	1.26%	卸売	大阪二部
13	7522	ワタミ	2.52%	小売	東京一部	38	7826	フルヤ金属	1.07%	その他製品	JASDAQ
14	2749	JPホールディングス	2.49%	サービス	JASDAQ	39	3092	スタートトゥデイ	1.03%	小売	マザーズ
15	7201	日産自動車	2.41%	輸送品	東京一部	40	1378	雪国まいたけ	1.01%	水産・農林	東京二部
16	6513	オリジン電気	2.35%	電機	東京一部	41	5714	DOWAホールディングス	1.00%	非鉄金属	東京一部
17	2371	カカココム	2.34%	サービス	東京一部	42	5384	フジインコーポレーテッド	0.99%	ガラス・土石	東京一部
18	4819	デジタルガレージ	2.34%	情報通信	JASDAQ	43	9984	ソフトバンク	0.91%	情報通信	東京一部
19	4775	総合メディカル	2.15%	小売	東京一部	44	8283	Paltac	0.79%	卸売	東京一部
20	8915	タクトホーム	2.05%	不動産	東京一部	45	6246	井上金属工業	0.70%	機械	大阪二部
21	4973	日本高純度化学	2.01%	化学	東京一部	46	4574	大幸薬品	0.33%	医薬品	東京一部
22	6146	ディスコ	1.97%	機械	東京一部	47	7956	ピジョン	0.13%	その他製品	東京一部
23	6474	不二越	1.92%	機械	東京一部						
24	3046	ジェイアイエヌ	1.90%	小売	ヘラクレス						
25	6594	日本電産	1.88%	電機	大阪一部						

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

ひふみのまめちしき

新聞やテレビで目にした話題や投資信託について、コミュニケーション・センターが担当部門や関係者に教えてもらいながら学んだことをご紹介します。

「医療ツーリズム」

医療の分野で国境を越えて海外から患者を受け入れる「医療ツーリズム」が本格化してきています。これまで積極的に取り組んでいる、欧米をはじめインドやシンガポール、タイ、韓国などのアジア勢に背中を押されるかのように、日本でも各省庁から「医療ツーリズム」の推進を掲げる提言が相次いでおり、先日は「医療滞在ビザ」(仮称)を創設する方針も発表されました。

欧米や、シンガポールやタイ、韓国といった医療ツーリズムの先進諸国に、後発組の日本がどこまで追従できるかは今のところよく見えていませんが「治療=欧米」「健診・検診=シンガポール・タイ」「美容=韓国」といったように、それぞれの強みを発揮して海外からの患者を獲得しているように見えます。

そうやって考えると日本は交通のアクセスもよく、治安もいい。また、高度な医療技術や先進的な医療機器による診断・治療は評価も高い。ヘルシーな日本の「食」、デトックス効果のある「お風呂」など、健康に敏感な世界の富裕層には魅力的な国に映るのではないのでしょうか。

日本政策投資銀行が発表した、「進む医療の国際化～医療ツーリズムの動向～」と題したレポートでは2020年時点での潜在需要として、日本に医療目的で渡航するツーリストは年間43万人、観光を含めた市場規模は約5500億円、経済波及効果は2800億円を期待できると試算しています。

医療従事者および医療事務にかかわるスタッフの多言語対応、通訳の育成、海外からの患者向けの医療保険や医師の不足など、これまで外国人に目を向けてこなかった医療業界のグローバル化は大幅に遅れており、まだまだ課題はあるようです。しかしながら、ひふみ投信にも「医療」に関する銘柄は組み入れられており、今後の動きに注目していきたいと思えます。



・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

ひふみアカデミー

ひふみ投信の運用について詳しく知る

月2回発行される運用レポート「ひふみのあゆみ」に沿って、運用担当者がどのような視点で経済・株式相場を考え、銘柄を選択しているかなどについてお話いたします。ひふみ投信について、投資哲学や具体的な特徴・しくみについて詳しく知りたいお客様や、他の投資信託との違いが知りたいお客様向けのセミナーです。

◆ 7月6日(火) 19:00 ~ 20:30

動画配信も予定しており、後日の視聴も可能です！ → <http://bit.ly/c2kTBj>

◆ 8月10日(火) 19:00 ~ 20:30

開催場所:レオス・キャピタルワークス セミナールーム

(東京都千代田区丸の内1-11-1 パンフィクセンチュリープレイス丸の内27階)

お申込は、当社ホームページ(<http://www.rheos.jp/func/seminarIntro.jsp>)で受け付けています。

または、コミュニケーション・センターへのお電話(03-6266-0123)やE-mail(cc@rheos.jp)でも承っています。

ひふみサロン

「ゆたかな暮らし」について考える

①くつろぎのある生活 ② お金と向き合う(お金の活かし方) ③ これからの経済や社会を考える のいずれかのテーマに沿って「ゆたかな暮らし」についてのヒントを得るセミナーです。毎回、各界でご活躍のゲストをお呼びしてお話を伺います。(「ひふみサロン」ではひふみ投信の運用に関するご説明や質疑応答は特にいたしません。)

◆今後の開催予定◆

8月24日(火) には、コモンズ投信(株)会長の渋沢健氏とセゾン投信(株)代表取締役社長の中野晴啓氏をお迎えして、草食投資について語っていただきます。

詳細ならびにお申込み方法は、近日ホームページでお知らせします！

「運用のプロが教える 草食系投資」出版記念セミナー

ひふみ投信の運用責任者である藤野英人が、コモンズ投信(株)会長の渋沢健氏・セゾン投信(株)代表取締役社長の中野晴啓氏とともに、「ゆっくりコツコツ資産を増やす」名付けて「草食系投資」をお伝えします。

【倉敷】	2010年7月10日(土) 13:30~16:30	倉敷物語館	参加費:1,000円
	お問合せ先:石井達也様	E-mail: shadow_fly_back7@mx6.kct.ne.jp	
【十勝】	2010年8月7日(土) 14:30~16:30	帯広市生涯学習部とかちプラザ講習室402	参加費:無料
	お問合せ先:とかち東京クラブ・地元交流部	E-mail: tokachi.tokyo.event@gmail.com	
【札幌】	2010年8月8日(日) 13:30~15:30	札幌市教育文化会館 研修室302	参加費:500円
	お問合せ先: イデアプランニング	E-mail: ideaplan77@biscuit.ocn.ne.jp	
	電話:011-219-3334		

今後の開催予定は、当社ホームページで随時お知らせいたします。

http://www.rheos.jp/seminar_info/soushokutai.html

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。